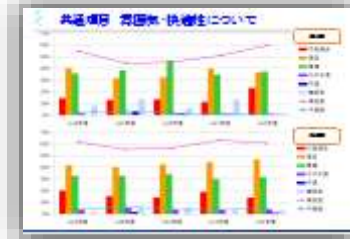
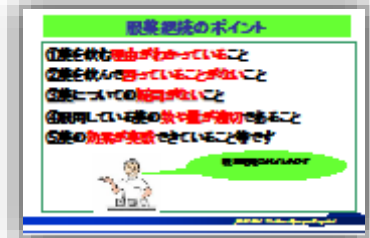


広報誌  
**うえるふえあ**  
 52号  
 2011.7.29  
 発行 社会医療法人慈生会広報委員会 鹿児島県枕崎市白沢北町 191 番地 TEL (0993) 72-0055

# 第8回慈生会学会が開催されました

6月23日(木)に、慈生会学会が開催されました。この学会は年1回、法人職員の研究発表の場として開催されています。今回は6題の演題発表があり、どれも素晴らしい発表内容でした。



## 経営理念

- 患者様の健康回復に努め、もって患者様の生活安定と幸福に貢献すること
- 地域住民の健康維持管理に努め、もって地域社会の発展に貢献すること
- 職員の生活向上と幸福をはかること

## 基本方針

- ◇ 患者さんに満足してもらえる医療を提供します
- ◇ ストレス社会と高齢社会に対応した専門医療を提供します
- ◇ 地域医療に対応したプライマリーケア機能を高めていきます
- ◇ 高い技能と優れた人格を併せもった人材を育成します

東日本大震災の発生から4カ月経過してなお、被災地では5000人以上の行方が分からず、いまだ終息の目途が立っていません。そんな中、鹿児島大学病院から医療支援チームとして派遣された、当院の非常勤医師肝付先生に活動の様子を書いていただきました。

## 東日本大震災後の被災地での医療支援活動報告 鹿児島大学病院精神科 肝付 洋

東日本大震災後に医療支援チームとして派遣された計3回の活動状況と被災地の現状について報告します。

鹿児島大学病院は、2011年3月25日から同5月1日までの期間、全12チームを宮城県石巻市に派遣しました。メンバーは内科系医師1名、外科系医師1名、精神科医1名、看護師2名、薬剤師1名、事務職員2名の計8人で構成されました。1チームの旅程は5日間で現地での実質の活動期間は3日間でした。私の派遣日程は震災約2週間後の3月28日からと震災約1ヶ月後の4月15日からでした。移動手段は溝辺空港から伊丹空港（チームによっては羽田空港）経由で山形空港まで空路を使い、山形からは車で約2時間半かけて石巻市まで移動しました。私の1回目の派遣は羽田空港経由だったのですが、震災約2週間後は羽田空港も照明がおとされ、利用者も少なく、今まで見たことのないくらい閑散とした雰囲気でした。山形からの陸路は高速道路を使ったのですが、震災の影響で道路の陥没やひび割れを緊急で補正した状況であり、高速道路とは思えないほどの、乗り心地の悪さを感じました。宿泊先は石巻市の隣町である東松島市のペンションで朝食と夕食は用意してくれました。幸いお湯が出たので風呂には入れましたが、水は使えず、トイレは水が流れなかったため、使用後はためおきた水で流すような生活でした。医療支援の活動内容は、石巻赤十字病院（約400床の総合病院：精神科・心療内科の標榜はしていません）の指揮下で避難所の巡回診療と院内救急支援を行いました。毎朝6時にペンションを出発して7時から行わ

れる石巻赤十字病院のミーティングに参加し、その後に担当の避難所を巡回するような活動状況でした。チームによっては院内の救急支援の担当になり、睡眠時間を削りながら活動したそうですが、私はどちらの派遣でも避難所の診療担当で比較的規則正しい生活を送っていました。



震災約2週間後の派遣では、石巻赤十字病院のスタッフは1日300人程の救急患者（3月13日の救急患者数は1200人以上）の対応に追われており、巡回する避難所での診療は全国から派遣されたそれぞれの医療支援チームにすべて一任されるような状況でした。我々も8人のメンバー（私のチームは薬剤師が加わる前だったので処方薬の準備も自分でしていました）で日々試行錯誤しながら医療支援を行いました。プライマリケアとしての診療の要素が強く、専門性を問われる診療内容は少ない印象でした。震災による死者のおよそ9割が溺死であったため、緊急を要する外傷や身体疾患への対応は全くなく、高血圧症や糖尿病などの慢性疾患の薬物加療継続や、避難所での集団生活による感冒や胃腸炎などの診療がほとんどでした。精神疾患の方で薬物加療の継続が必要な被災者が数名いましたが、震災後に精神症状が悪化し、入院を要する方はいませんでした。

震災約1ヶ月後の派遣では、石巻赤十字病院内の医療がやや落ちついてきており、全国から派遣された医療支援チームは同院の指揮下で組織化されて、医療支援を行うようになっていました。この時期は、避難者が徐々に自宅の清掃などを開始していたため、切創などの外傷や



腰痛などへの対応が増えていました。また、PTSD 発症が予想される時期でしたが、不眠や不安を訴える被災者はいたものの、PTSD を発症した方を診療する機会はありませんでした。

一方、鹿児島県支援本部は、2011 年 3 月 23 日から同 7 月 1 日（協議の結果 9 月まで派遣が継続になりました）までの期間、宮城県女川町にこころのケアチームを派遣しました。町内で唯一診療を再開していた女川町立病院医師と女川町保健師と連携しながら、避難所の巡回診療を行いました。震災以降、県立始良病院の先生方が派遣されていましたが、5 月 6 日からは鹿児島大学病院精神科の医局員も派遣活動に加わるようになりました。派遣メンバーは精神科医 1 名、県の保健師 5 名、看護師 1 名、事務職員 1 名の計 8 人でした。私は震災約 2 ヶ月後の 5 月 6 日から 1 週間（実質の活動期間は 5 日間）派遣されましたが、この時期は仙台空港が開港していたため、溝辺空港から伊丹空港経由で仙台空港という空路で現地入りしました。石巻市の旅館に宿泊しましたが、水道が復旧しており、生活で困ることは個人的には全くありませんでした。



女川町は石巻市の隣町ですが、山と海に囲まれている地形の問題もあり、甚大な津波の被害をうけ、町全体が壊滅状態でありました。ここでの医療は、各避難所から女川町立病院への交通手段の確保という問題が当面の課題となっていました。女川町立病院が町内を巡回するマイクロバスの運行を始めたのですが、慢性疾患の薬物加療の継続を要する被災者の中には通院手段が確保された後も、半壊した自宅の清掃で受診できないことを理由に断薬傾向となる方が多くいらっしゃいました。

3 回の派遣活動を経て、最も実感したことは被災地ごとの復興状況やニーズが異なるということでした。石巻市では石巻赤十字病院と

いう拠点病院が大きな被害を受けなかったことや、市内のクリニックなどの医療機関の診療再開が比較的早かったため、医療復興の手ごたえを実感できましたが、隣町である女川町では被害が大きすぎて、医療をはじめとする町全体の復興には時間を要する印象を受けました。実際、派遣中にも二次非難を含め、町外へ移動する避難者が後を絶たない状況でした。

災害急性期の支援活動を終え、派遣チームが徐々に減少している現状ですが、被災地によっては交通手段の問題があり、土地柄から寝たきりの在宅高齢者も多いと推測されるため、今後も往診医療のニーズは長期化するものと予想されます。

精神医療に関しては、予想された PTSD などのストレス障害は今回の派遣では多い印象を受けませんでした。しかし、未曾有の大震災後であるため、復興にも時間を要しており今だ、多くの被災者が避難所生活を強いられている現状からは、ストレス障害の潜伏期も長期に及ぶ可能性があり、今後時間経過を経てから、精神症状が表面化することも考えられました。

今回の派遣（特に震災約 2 週間後）で、身体疾患の加療中に「実は最近眠れてない」とか「怖い夢をよく見る」などの訴えも多く聞かれました。そのような訴えをされる被災者の方々には、今後 PTSD の発症を予見するような精神変調が訪れた際の対処法について簡単にアドバイスするというスタイルで診療にあたりました。一般的には災害後の身体的急性期をすぎたあとに精神医学的な介入が必要とされますが、災害後の急性期の段階でのこのような精神的介入をすることが少しでも PTSD などの発症の予防になれば幸いと考えております。

また、震災約 1 ヶ月後の派遣では医療支援チームが過剰であったため、避難所や出張診療所周辺の清掃や瓦礫の撤去作業も行いました。現実的に被災地での支援活動とは、医療支援チームとして自分に何ができるのかを考えるのではなく、被災者が何を望んでいるかを考えると、自ずと自分がやるべきことが見えてきたような気がしました。

9 月の下旬に再度女川町へ派遣予定となっていますが、被災者が何を望んでいるかをまず考えて、支援活動を行うつもりです。

最後に、数回にわたり被災地での派遣活動を行うにあたり、私の不在時に通常業務を代行してくださった鮫島院長をはじめとするウエルフェア九州病院の常勤の先生方に感謝の意を申し上げます。

## お役立ちレシピ

# なすと桜えびの和え物



＜材料＞	
なす	20g
きゅうり	40g
玉ねぎ	30g
桜えび	1g
醤油	5cc
ごま油	1g

### ＜作り方＞

- 1 なすは、薄く半月切りにする。ボールに入れ、塩少々ふってしばらく置き水気が出たら水にさらしてから絞っておく。
- 2 きゅうりと玉ねぎは薄くスライスし、塩少々ふってしばらく置き水気が出たら水でさらしてから絞っておく。
- 3 桜えびは軽くから煎りしておく。
- 4 1～3の材料をボールに合わせ、醤油とごま油で味付けして出来上がり。

なすの青紫の色素成分アントシアニン系のナスニンはポリフェノールの一種で、強い抗酸化作用でコレステロール値を下げて動脈硬化を予防したり、体内に発生した活性酸素を抑える働きで、がんの予防や老化予防にも効果を発揮します。また、スポンジのような果肉は油をたっぷり吸うのでビタミンEが豊富な植物油などで調理すると抗酸化力がさらにアップし、スタミナもつくのでお勧めです。

## 6月の行事食



### 牛ヒレステーキランチ

レストラン課

6月の行事食は効ストレスや疲労などに効果的な薬膳料理です。

#### 【献立】

- ー・テンドーロインステーキ
- ー・コーンポタージュ
- ー・盛り合わせサラダ
- ー・デザート（コーヒーゼリー）
- ー・パエリア風炊き込み

#### 【薬膳一言】※百合根について

日本料理では生の百合根をよく使用しますが、中国では古くから、乾燥した百合根をさまざまな料理に活用してきました。乾燥品の方が生に比べ薬効が高い上、保存もよいためです。百合根にはイライラを静め、ストレス解消や疲労回復効果があるとされています。火を通すと、芋類のように「ほくほく」とした食感になり、豚肉と一緒に煮込むスープはスタミナ回復食として、また黒ゴマのおしるこ組み合わせれば不眠効果が生まれるとされています。百合根は薬効的に現代人向きの薬膳食品ではないでしょうか。



※食品効能についての参考資料（薬用食品学改訂第5版/5訂日本食品成分表）

## 第 17 回コスモス会の報告

5月21日(土)に、「認知症の方と快適に暮らす～介護のコツ～」というテーマで第17回コスモス会を開催しました。認知症の病気の説明やその方にあった介護のポイントを認知症治療病棟看護師上釜巧也主任より、オムツの当て方についての説明・実技を同病棟介護福祉士福ヶ野文昭氏より講演させて頂きました。対応の難しい症状ですが、ご家族のちょっとした気づきが治療につながります。講演後にはご家族から様々なご意見や質問が出され、賑やかな家族会となりました！

認知症の人にとってよりよい介護を続けるためには、ご家族や介護者の方々がご自分の健康管理にも配慮し、介護疲れなどに陥らないことが大切です。また、さまざまな福祉サービスの積極的な活用もおすすめします。要介護の方のお世話を福祉サービスに委ねることは、質のよい介護を長く続けていくためには必要です。積極的に社会支援制度を利用して、ご家族や介護者の方も心身をリフレッシュしていきましょう。

困ったことがあれば、遠慮なく当院職員へお声かけ下さい。認知症の方と快適に暮らす方法を一緒に考えていきたいと思ひます。

参加して下さいましたご家族の皆様、ありがとうございました。



### 作業療法室より

#### Vol. 1

作業療法課 栗野里江子

はじめまして。作業療法士の栗野です。今号より、「作業療法室より」と題し、みなさんにもっと作業療法のことを知って頂きたいと思ひ、連載を始めることになりました。よろしくお願ひします。

さて、第1回目となります今回は、普段私たちが行っている作業療法についてご紹介したいと思ひます。それぞれの病棟ごとに作業療法プログラムがあります。また病棟ごとに担当の作業療法士がおり、その作業療法士が中心となってプログラムを実施しています。これは私が担当しているみどり病棟の一週間のプログラム内容です。

	月	火	水	木	金	土
AM	うた会		体操 ゲーム	パワー リハ	手工芸	
PM		卓球・マ ット体操		個人OT 手工芸	学習会	ビデオ 鑑賞
		機能 訓練		機能 訓練		

月曜日のうた会と水曜日の体操は大集団の作業療法になります。こういった集団作業療法は、生活リズムを整え充実した時間を過ごす、集団活動を通して人と交流する機会を作るなどといった目的があります。

病棟により、患者様の疾患や状態が違いますのでその患者様にあわせたプログラムを実施しています。例えばこの病棟は主に高齢者や寝たきりの患者様が多い病棟なので、精神機能への作業療法の他に、機能訓練や体操といった身体機能へのアプローチも行っています。今後も患者様のニーズに少しでも答えられるよう努力していきたく思ひます。



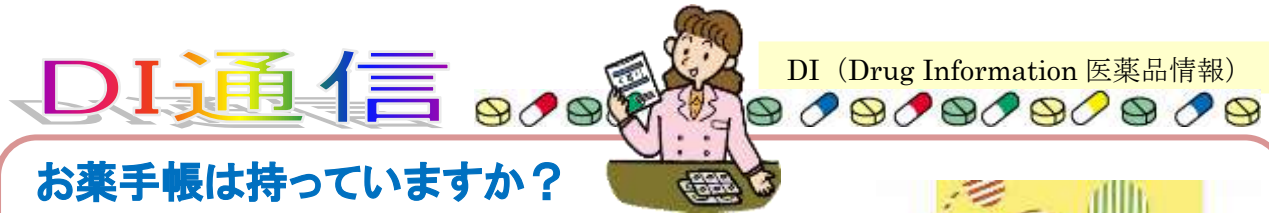
当院の院内感染防止対策委員会についてご紹介いたします。

院内感染防止対策指針として、院内感染の予防・再発防止対策の対応における院内感染対策体制を確立し、適切かつ安全で質の高い医療サービスの提供を図ることを目指しています。

院内感染防止対策委員会の主な業務としては、①院内感染サーベイランスを実施し、感染症発生状況と感受性検査結果について、感染情報レポートを作成する。②院内で感染症が発生した時の対策と改善策の検討を行う。③院内感染防止対策に必要な職員研修を実施する。④院内感染防止対策マニュアルの見直しを行い改正する。等があります。

委員会では、このように感染の予防・防止に努めています。感染症（インフルエンザ等）の流行時には、お見舞に来られる方々も、病院内に感染症を持ち込まないようご協力をお願いいたします。

(院内感染防止対策委員会委員長 後藤義規)



### お薬手帳は持っていますか？

お薬手帳とは、いつ、どこで、どんなお薬を処方してもらった記録しておく手帳です。また、アレルギーや副作用の原因であったお薬がどれであったかも記録されます。

#### ＜お薬手帳の役割＞

- ・ 病院や薬局で見せる事によって薬の重複や相互作用を防ぐ事ができます。
- ・ アレルギー歴や副作用歴を記載する事により、同じ種類の薬剤での副作用を防ぐ事ができます。
- ・ 入院時、通院時など利用することにより、病院、診療所、薬局とがお薬手帳を介して連携し、より安全にお薬を使用できるようになります。
- ・ 外出時や災害時に携帯する事でいつでも服用しているお薬の内容がわかり救急救命処置が円滑に行われます。



#### ＜お薬手帳の使い方＞

- ・ 病院、薬局に行く際は必ず見せましょう。
- ・ アレルギー、副作用が出た場合は書き留めておきましょう。
- ・ 通院時、外出時は必ず持ち出しましょう。
- ・ 1人1冊にまとめましょう。

#### ＜お薬手帳の他にも病状に合わせた手帳もあります＞



糖尿病健康手帳



高血圧管理手帳

お薬手帳、お薬に関する質問があれば、いつでも薬剤課までお問い合わせください♪♪

## 実習を通しての感想

当院で実習された 2 人に感想を書いてもらいました。

### 作業療法課実習 鹿児島大学医学部保健学科作業療法学専攻 4 年 浜崎健太

6 週間という長期の実習はウエルフェア九州病院が初めてで分からないこともたくさんありましたが、とても貴重な経験をさせていただきました。例えば、病棟ではさまざまな疾患の患者様との関わりや活動を通して、その疾患への対応の仕方やその疾患に対する作業療法の目的など教科書では学べないことをたくさん経験することができました。また、認知症の家族会であるコスモス会にも参加させていただきました。コスモス会では自宅で認知症の方を介護している家族の方の悩みや疑問などを直接聞くことができ、このことから病院や医療従事者が今後どのように対応していくべきなのか、また、今行なっている医療サービスが家族の方の負担をどれほど軽減することにつながっているのか、なども学ぶことができました。

ここで学んだことは次の実習地でも生かすことができるようにしていきたいと思います。6 週間と長い期間でしたが様々な経験をさせていただき本当にありがとうございました。

### 薬剤課実習 第一薬科大学 青木遥

5 月半ばから薬剤課で実習をさせて頂いております青木遥です。福岡の第一薬科大学から来ました。実務実習では、薬剤師の業務や、医師、薬剤師、看護師、CP、OT、PSW、栄養士等、多職種によるチーム医療の重要性・連携を学べる事ができました。また、技能や知識だけでなく実際に患者さんと接する事によりコミュニケーションの難しさ、会話を通して得られる情報、患者さんそれぞれに合った服薬指導を行っていく事の大切さを学びました。7 月末までと短い期間ですがどうぞよろしくお願い致します。

## すずらん会のご案内

第 18 回すずらん会（家族会）を下記の通り開催することとなりました。ご多忙とは存知ますが、皆様のご参加の程よろしく願いいたします。

### 記

目的: ご家族の皆様と、病気や障がいについて共に学びあい、そして語り合う事

日時: 平成 23 年 9 月 3 日 (土) 午後 1 時 30 分～3 時 30 分

(受付: 午後 1 時～)

場所: ウエルフェア九州病院 第 2、3 会議室 (2 階)

内容: 講演 「統合失調症の患者様との関わりについて」

講師 宮内 隆好 医師

(ウエルフェア九州病院・鹿児島大学病院心身医療科)

座談会 日頃、患者様と接している中で、感じていることや分からないこと困っていることなどをみんなで話す場です。

対象者 精神障がい者を抱えるご家族様

参加を希望される方は 8/20 までにご連絡ください。

お問い合わせ 家族会実行委員会 TEL0993-72-0055 榊・上野

# お知らせ

■精神科救急 7/31(日)・9/25(日)  
■内科当番 8/28(日)・10/30(日)  
お盆休み 8/14(日)・15(月)

6月より、午後からの新患・初診(前回の受診より3ヶ月以上受診のない方)は受付できません。再診の方は今までどおりです。午後から新患・初診で来院された方は、大変申し訳ございませんが、後日、午前中の来院をお願いしております。皆様のご協力とご理解をよろしくお願い申し上げます。

うみがめ病棟およびデイケアいその苑の改装工事が始まりました。つきましては、患者様およびご家族の方々にご迷惑おかけ致しますがご協力をよろしくお願い致します。工事期間 6月~9月25日(予定)



## 意見箱コーナー

当院では院内8箇所意見箱を設置し、患者様、ご家族からのご意見・ご要望に出来るべく取り組んでいます。寄せられたご意見・ご要望と、それらに対する回答を一部紹介いたします。

**ご意見1:** 枕崎の病院では、ここの病院の自動販売機の金額が一番高い。

回答: 当院に設置の自動販売機は2社の製品が入っており、当院は価格の設定に関与しておらず、業者2社それぞれと間に入っている売店の本部との契約で価格は決定しております。価格の件を売店の本部に問い合わせを致しましたが、今のところ価格変更の予定はないとのことでした。誠に申し訳ございませんが、ご了承の程お願いいたします。なお、売店で販売している飲料水については、定価より10円程安くで販売しているようです。

**ご意見2:** もう少し、テキパキ受付でしていただきたい。

回答: 当院のご利用有難うございます。今日の対応のところで、親切な対応を受けたと評価頂き私たちスタッフも日ごろの努力が少しずつではありますが、実を結んで来ている所があるのかなと感謝致しております。ご意見の中にもう少しテキパキとして欲しいとのことでしたが、親切・丁寧な対応を心掛けるがゆえにテキパキと対応出来ない所もあったのかなと反省しております。今後は今まで以上に状況に応じた対応を行い皆様にとりまして、ご利用し易い病院を目指したいと考えております。今後ともご意見ご指導を宜しくお願いいたします。

## 編集後記

なでしこジャパンがFIFAワールドカップで優勝しました。トーナメントでは強豪ドイツを破り快進撃を続け、決勝では世界ランク1位のアメリカとも互角に渡り合い、同点のままPK戦へ、PKが始まる前に笑顔で円陣を組む姿が頼もしく感じました。日本に笑顔と元気をありがとう。(寿)

発行人 鮫島秀弥 社会医療法人慈生会

〒898-0089 鹿児島県枕崎市白沢北町191番地

TEL (0993) 72-0055 FAX 72-1199

URL <http://www.welfare-kyusyu.or.jp/>

e-mail [jiseikai@welfare-kyusyu.or.jp](mailto:jiseikai@welfare-kyusyu.or.jp)

ウエルフェアは健康・幸福・福祉・繁栄を意味します。